

# 21. 公園・緑地

## 目指す姿

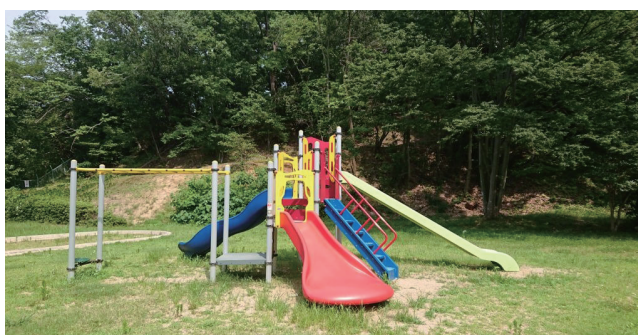
市民等の参加により公園・緑地などの身近な潤い空間が管理され、誰もが憩いの場として快適に利用できています。

## 現状

- 公園・緑地は、日常的には子どもの遊び場・健康運動の場・憩いの場などとして利用されるとともに、その存在自体が環境改善や防災性の向上などの機能的役割を果たしています。また、日常管理における担い手不足が生じています。
- 整備から30年以上経過した公園・緑地が多数あり、遊具等の公園施設の劣化が進んでいます。

## 課題

- 地域の公園・緑地に対するニーズをきめ細かく把握し、それぞれの公園・緑地においてはどのような役割を持たせるべきかを見極める必要があります。
- 老朽化した遊具は事故の危険性があることから、更新を図り、安全性を確保していく必要があります。



白樫近隣公園

関連する  
SDGs



## 成果を測る指標

市内に憩いの場として利用できる公園・緑地があると感じる市民の割合

実績値 :43.2%

### 取組みの方向性

多様な主体との連携

### 方向性の説明

市民や民間事業者との連携により、公園の魅力を高める維持管理運営を行います。

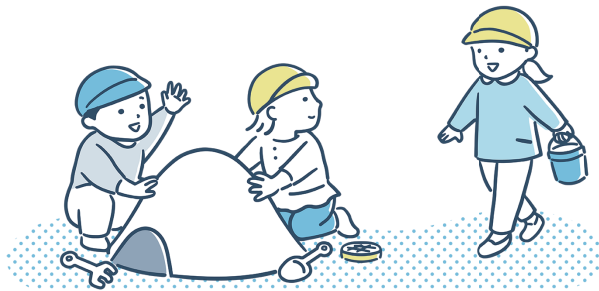
### 取組み例

- 市民との公園の管理協定の締結
- 指定管理者制度・P-PFI制度<sup>※</sup>の活用

公園施設の健全度向上

老朽化した公園施設の計画的な補修・更新を行います。

- 公園施設長寿命化計画に基づく施設の更新



### 関連する個別計画

▶ 社会資本総合整備計画

▶ 橿原市緑の基本計画

# 22. まちづくり・景観

## 目指す姿

近代的な都市機能と歴史的景観が共存しており、市民がそれらを本市の魅力と感じています。

## 現状

- 少子高齢化や人口減少の進行とこれまで整備してきた社会インフラの老朽化が進んでいます。一方で京奈和自動車道など新たな幹線道路等や国民スポーツ大会など大規模イベントに向けた各種計画等の整備が進められており、世界遺産登録などを契機に歴史文化遺産や景観に対する市民の関心が高まっています。
- 奈良県と協働してまちづくりに取り組んでおり、市民や民間事業者等が協働・参画する地域特性を活かしたまちづくりを進めています。

## 課題

- 地域の低密度化や既存の公共施設維持負担の増加から市民生活の維持やこれまでの公共サービスを持続することが困難になる可能性があります。一方で、道路整備が進んだ周辺地域や新たな施設計画の推進で土地の利活用ニーズが高まりつつあり、地域の特性や歴史的資源や景観との調和が必要です。
  - 奈良県の中南和の拠点都市としてさらなる賑わいを創出するまちづくりが求められています。
- 
- 歴史と現代が調和した個性ある景観形成が進んでいます。
  - 本市特有の歴史的資源を残しながらも、今後さらに、それぞれの地域の個性に応じた景観形成を進めるために、市民の景観に対する理解を深め、協働していくことが必要です。



大和三山

関連する  
SDGs



## 成果を測る指標

快適性・利便性・安全性と歴史ある景観が共存していると感じる市民の割合

実績値 :45.9%

### 取組みの方向性

### 方向性の説明

### 取組み例

都市機能の集約と地域の特性を踏まえた持続可能なまちづくり

都市機能を集約・充実させ市街地の無秩序な拡大を抑制するとともに、地域の実情やニーズを踏まえ、快適で秩序ある持続可能なまちの形成に向け、計画的な土地利用の規制・誘導を図ります。

- 立地適正化計画
- 適切な土地利用への誘導
- 地区計画の策定

★ 中南和の拠点都市にふさわしいまちづくりの推進

奈良県とのまちづくりに関する包括協定に基づき、観光・交通・医療等のそれぞれの取組みが有機的につながり、その効果を広域的に発揮できるまちづくりを展開します。

- 大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画に基づく個別事業の実施
- 医大周辺地区まちづくり基本構想、基本計画の検討及び個別事業の実施

★ それぞれの地域の個性に応じた景観形成

景観に関する啓発や魅力ある景観のPRを行うとともに、各種法令に基づく適切な手続きの指導・協議を行います。また、関係機関との連携を図ります。

- 関係法令に基づく指導・協議
- 建築物や屋外広告物への適切な規制・誘導
- 景観に関する啓発
- 魅力ある景観のPR
- 住民や関係機関と協働した名勝大和三山の魅力の向上

### 関連する個別計画

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| ▶ 橿原市都市計画マスタープラン     | ▶ 橿原市色彩ガイドライン   |
| ▶ 社会資本総合整備計画         | ▶ 耳成山風致地区保全方針   |
| ▶ 大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画 | ▶ 畝傍山風致地区保全方針   |
| ▶ 橿原市景観計画            | ▶ 香久山風致地区保全方針   |
| ▶ 橿原市景観形成ガイドライン      | ▶ 藤原宮跡風致地区保全方針  |
| ▶ 大和三山眺望景観保全計画       | ▶ 菖蒲池古墳風致地区保全方針 |

# 23. 歴史・文化財

## 目指す姿

文化財を調査し、適切に保存・活用することで、市民が文化財と触れ合うことができます。触れ合いを通して、その価値を理解し、本市の歴史に誇りと愛着を持ちます。

## 現状

- 世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」の19の構成資産※のうち、市内には4つの構成資産があり、その保存と活用を行っています。また、構成資産近隣の地元住民が構成資産の保存や活用に取組んでいます。
- 地域の歴史・文化を伝える貴重な文化財が多数存在し、文化財指定の取組みや修理事業、調査研究を行っています。
- 縄文時代より続く本市の歴史を理解してもらうため、出前講座等により市民が知的好奇心を満たす取組みを行っています。また、歴史に憩う橿原市博物館では、本市の歴史を伝えるため、地域の資料を収集・保管し、調査研究した成果を展示や講座などで発信するとともに、啓発の一環として他機関との連携事業や体験学習等を行っています。
- 今井町は平成5(1993)年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、伝統的な建造物の数が全国最多となる500件を数える美しい歴史的町並み景観を有しています。

## 課題

- 構成資産を保存していくためには、多くの市民の協力が必要です。市民が、世界遺産を通じて、本市の歴史にさらなる誇りや愛着を持ち、構成資産を守っていく気持ちを育むためには、世界遺産の価値を伝えるための整備が必要です。
- 本市の有する豊かな文化財を守るため、文化財の調査研究を進め、その価値付けを行い、未来へ伝えていくことが求められます。
- 文化財の指定や修理等を通して文化財を守るだけでなく、市民が郷土の文化財に触れ、理解を深めていくことが必要です。また、歴史に憩う橿原市博物館においては、来館者が歴史への興味を持つために博物館の取組みに触れる機会を増やすことが必要です。また、郷土の歴史に対する理解や郷土愛を深めるために市民が博物館で知識や歴史の楽しさを体感できる工夫が必要です。
- 景観の保全も進んでおり、その歴史的資源を継承していくため、まちの賑わいや活力の創出が必要です。

関連する  
SDGs



## 成果を測る指標

本市の歴史に誇りと愛着を持つ市民の割合

実績値 :53.4%

### 取組みの方向性

★ 世界遺産の価値を伝えるための整備

### 方向性の説明

世界遺産としての価値を伝えるための整備や展示の充実を図ります。また、世界遺産の価値を伝える啓発活動を推進し、市民が構成資産の保存と活用へ関わるきっかけをつくります。

### 取組み例

- 解説板や AR※等デジタルコンテンツの作成
- 資料室等での展示
- 講演会・出前講座・出前授業の実施
- 藤原宮跡での花園植栽

文化財の保存・調査

文化財を未来へ継承していくため、市内に存在する多種多様な文化財について、その保存と調査研究を行っています。

- 史跡の維持管理
- 史跡の整備・公有化
- 市指定文化財の拡充
- 各種文化財の調査

★ 文化財の活用・普及啓発

本市の文化財を活用することで市民の文化財への愛着を育むとともに、郷土の歴史に対する理解の促進を図ります。取組みにあたっては、展覧会やイベントに対する理解度や満足度を把握し、他機関とも協力しつつイベント内容の充実を図ります。

- 各種情報媒体での文化財・博物館情報の発信
- 講演会やイベント出展等の啓発活動
- 展覧会の企画及び開催
- 博物館イベントに関連する講演会やイベント出展等の啓発活動

★ 町並み景観の維持・向上と賑わい・活力の創出

町並み景観を構成する伝統的建造物の保存と活用、建築物等の修景や電線類の地中化により歴史的町並み景観の維持・向上に努めます。また、まちづくりの各種団体と連携してまちの賑わいと活力を創出します。

- 歴史的建造物等の保存・活用
- 建築物等の修景整備
- 電線類の地中化整備
- 地区内の公共施設の適切な維持管理
- 歴史的町並みの各種媒体での情報発信

### 関連する個別計画

▶ 檀原市内史跡名勝保存活用計画

▶ 特別史跡藤原宮跡保存活用計画

# 24. 観光・交流

## 目指す姿

地域とともに本市の魅力を PR することで、中南和地域の観光・交流の拠点としてまちに多くの人を訪れています。

### 現状

- シティプロモーション※の一環として包括連携協定先との取組み等の実施により、行政以外からの情報発信につながり、一定の本市の認知度向上に寄与しています。今後、地域の担い手が減少するなかで、地域の魅力を向上させていくためには、国際間・自治体間・地域間での連携がますます重要です。
- 「日本国はじまりの地」として本市の周知を進めた結果、「日本国はじまりの地 橿原」を聞いたことがある人が増えています。また、大阪、京都、名古屋といった大都市圏や著名な観光地との相互アクセスが容易な結節点となっていることは本市の強みといえます。
- 来訪者の満足度を高め、再訪意向率を向上させることで来訪者数の増加と観光消費額の拡大を図る必要があることから、観光の高付加価値化や受入れ環境の整備を行っています。
- 自然や地域の文化を活かし、住民の暮らしの向上にもつながる「持続可能な観光」の重要性が指摘されています。また、持続可能な観光地域づくりのため、「住民自身の郷土愛を盛り上げた上での誇れる観光都市の実現」を目指しています。
- 本市の認知度が低く、移住者の受入体制の整備も不十分であるため、本市への移住検討者の増加が僅少となっています。

### 課題

- 幅広いターゲット層への市の魅力が伝えられておらず、市の認知度が低いことが課題です。また、行政主体の取組みが主となっており、地域全体での取組みにまで広がっていないことも課題です。地域の魅力を高め、市民等の主体的な発信につなげるためには、官民間問わず積極的な交流・広域連携の推進が求められます。
- 「日本国はじまりの地」という、国内外に高い訴求力が期待できるキャッチフレーズを利用し、本市の認知の向上を図ることにより、旅行者の目的の地、行ってみたいあこがれの地として定着させることが課題です。また、本市を拠点とする広域観光を進めることにより、広域的な観光圏として、エリア全体の認知度の向上と観光消費額を向上させることが課題です。
- デジタル技術を活用し、来訪者の利便性向上を進め、快適で安心・安全な滞在環境づくり等、観光客目線での利便性を意識した受入れ環境の整備が課題です。また、オーバーツーリズム※等にも留意し、住民生活や地域の歴史・文化、自然環境等とのバランスの取れた観光地づくりが課題です。
- イベント開催や積極的な情報発信、官民連携による人材育成などにより、シビックプライド（郷土愛）を醸成することが求められます。また、関連団体・事業者等との連携や人材の確保を進め、本市の持続的な観光推進体制の構築が課題です。
- 移住検討者へのサポート体制の充実や、認知度向上に向けた移住プロモーションが必要です。

関連する  
SDGs



## 成果を測る指標

本市のプロモーションがうまく伝わっていると感じる市民の割合

実績値 :11.9%

### 取組みの方向性

★ 地域とともに市の魅力向上

### 方向性の説明

歴史・文化資源、交通利便性等の橿原市の強みを活かした周遊促進につながる観光プロモーション※を行います。また、行政のみならず、地域も主体的にアイデアを出せる仕組みをつくり、市の魅力を高めていきます。

### 取組み例

- 様々な主体との連携による発信
- 地域主体による魅力発信の仕組みづくり
- 各種交流の実施

★ 県市域を越えた広域連携

本市が広域的な観光ネットワークの拠点となるよう、周辺自治体等との連携を強化します。また各地域の魅力ある観光スポットを有機的に結びつけ、周遊ルートの形成や情報発信に取り組めます。

- 周遊ルートの造成
- 首都圏や大都市圏への観光プロモーション

★ 観光客目線での利便性を意識した受入れ環境の整備

本市来訪時における利便性を向上させるため、旅ナカツール※の拡充を図ります。また、観光施設の整備・更新を適切に進めることにより、来訪者に良質な体験を提供するとともに満足度の向上に繋がります。

- デジタルパンフレットの作成や多言語への対応
- 観光トイレ等の適切な維持管理

★ 官民連携による人材育成

地域への誇りや愛着の醸成が進むよう、地域イベントへ市民の参加を積極的に呼びかけ、市民と来訪者との交流機会の拡大に努めます。また、民間主導で観光振興に取り組める環境づくりに努めます。

- 地域に根付いたイベントへの支援
- 専門知識・技術を持つガイドの人材育成

★ 移住者の受入体制整備と移住プロモーションの充実

先輩移住者コミュニティとの連携や相談体制の整備、移住プロモーションの展開により、認知度向上と関係人口増加に繋がります。

- 移住 PR 動画や SNS を活用した情報発信

### 関連する個別計画

▶ 橿原市観光基本計画

# 25. 商工業・しごと

## 目指す姿

起業や事業拡大により市内商工業が発展するとともに、働きやすい職場環境が整備され、多様な人材が活躍しています。

### 現状

- 記録的な円安や物価高騰により、地域経済や中小企業者を取り巻く経営環境は厳しい状態が続いています。また、後継者不足も深刻となり、地域経済・社会を支える貴重な雇用や技術が失われる可能性があります。

- 少子高齢化による人口構造の変化や働き方の多様化に伴う労働時間の短縮等の影響により、人材や人手が不足しています。

- 企業立地を推進することは、雇用の創出等の原動力となり、市民生活の安定と地域経済の活性化に寄与します。

### 課題

- 経営状況が悪化している中小企業者への支援や適切な支援制度の情報提供、創業者への支援や事業承継にかかる支援も求められます。

- 世代や性別を問わず、市内で働きたい方が、いきいきと働くことのできる雇用、労働環境の整備が求められます。また、人材不足解消にかかる支援が求められます。

- 事業所や企業の新規立地や、増設・建替え等に対応するための用地が不足しているため、市内事業者の転出が懸念されるほか、市外事業者の転入の対応が課題です。



橿原市事業者支援ガイドブック

関連する  
SDGs



## 成果を測る指標

商業施設が立地し、日常生活に必要な物品の調達やサービスが充足できると感じる市民の割合

実績値 :54.9%

### 取組みの方向性

### 方向性の説明

### 取組み例

★ 中小企業者・創業者への支援

商工会議所やよろず支援拠点と連携した創業者の支援や、事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関と連携したサポートをしつつ、経営状況が悪化している中小企業者へ、国・県・市の支援制度を適切に情報提供していきます。

- 中小企業者への資金繰り支援
- 市内中小企業人材の確保・育成の支援
- 中小企業の事業承継対策
- 販路開拓の支援

★ 就労や人材確保の支援

労働局やハローワークと連携し、就労や人材確保に関する支援制度等の情報提供、企業と求職者のマッチングを支援します。

- 関係機関と連携した合同企業説明会の実施
- さまざまな立場の人の就労支援
- 労働環境に関する意識啓発
- 仕事や就職に関する相談対応

★ 未利用の市有地の活用と新たな産業用地の整備

企業立地のため、未利用の市有地を活用するほか、本市の高い交通利便性を活かした産業用地を整備します。

- 関連法令を活用した産業用地整備



### 関連する個別計画

▶ 創業支援等事業計画

▶ 橿原市導入促進基本計画

# 26. 農業

## 目指す姿

環境にやさしい農業が営まれ、市民が食と農に関心をもっています。

### 現状

- 食のグローバル化やライフスタイルの変化により食料需給を取巻く環境の変化が進んでいます。
- 若年層の農業離れや農業従事者の高齢化等により、農業の担い手が減少し、耕作放棄地が増加しています。
- 早期に整備された農地・農業用施設（井堰・ため池等）の経年劣化が進んでいます。また、自然災害や有害鳥獣の被害が増加しています。

### 課題

- 農産物の安全性を確保しつつ、市内農産物のさらなる流通拡大が求められます。
- 新たな担い手を確保することで、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、効率的・安定的な農業経営に向けて農地の集約化が求められます。
- 計画的な修繕・改修により自然災害の被害を防止や、農作物への食害を防止することで、持続的な農業が営める対策が求められます。



橿原市特産品の一例イチゴ

関連する  
SDGs



## 成果を測る指標

地元の農産物を積極的に取り入れたいと感じる市民の割合

実績値 :57.1%

### 取組みの方向性

### 方向性の説明

### 取組み例

#### 地産地消<sup>※</sup>の推進

地域特産物のブランド化や農産物の栽培技術の向上、環境に配慮した農産物の生産を支援します。

- 市内産農産物のイベントの開催や情報発信
- 農業に関する情報発信
- 地域特産物のブランド化
- 市内産農産物の学校給食及び市公園カフェでの活用

#### 耕作放棄地を含めた農地の活用

地域計画を策定し、多様な農業の担い手の確保・育成を行います。

- 農地中間管理機構等との連携
- 就農希望者受入れ体制構築
- 農業従事者への支援と農福連携<sup>※</sup>の推進

#### 自然からの被害の防止

納品食材となる農産物の安定供給に向けて、農地や施設の維持管理の支援や有害鳥獣対策等を実施します。

- 農地・農業用施設等の改修
- 維持管理の支援
- 有害鳥獣対策の実施
- 生産力向上への支援



### 関連する個別計画

▶ 鳥獣被害防止計画

▶ アライグマ防除実施計画

▶ 橿原市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画